

## 第2節 市域の概況

### 第1 地理的条件

#### 1 位置

本市は、大阪府南部の泉州地域に位置しており、北は高石市・泉大津市・忠岡町に、東は堺市・河内長野市に、西は岸和田市に、南は和泉山脈を境に和歌山県かつらぎ町に隣接している。

市の位置・広ぼう・高度・面積

位 置	東 経	135°25'35"
	北 緯	34°28'49"
広 ば う	東 西	6.9km
	南 北	18.8km
高 度	最 高	885.7m
	最 低	9.2m
面 積		84.99km <sup>2</sup>

#### 2 地勢

本市の地形は、南部が和泉山脈よりなる山地で、これに続く中部が傾斜のゆるい丘陵地であり、北部が大阪湾に向かって広がるなだらかな平地である。

河川は槇尾川・松尾川の二級河川が、南部の山地から北部の平地に向かって流れている。

ため池は、中部の丘陵地を中心に大小450程度が散在している。

### 第2 地質構造

#### 1 地質

本市の地質は、沖積層・洪積層・段丘層・領家花崗岩・和泉層群等より構成されている。

北部の平地は沖積層となっている。中部の丘陵地は主に洪積層・段丘層からなっているが、槇尾川・松尾川の流域には沖積層もみられる。一方、南部の山地は領家花崗岩・和泉層群からなっている。

#### 2 活断層

本市の直下には、国土地理院活断層図により坂本断層、久米田池断層の2つの活断層の存在が、確認されている。活断層の存在が即、直下型地震につながるとは一概にはいえないが、それらの存在を念頭に入れ、引き続き、なお一層の地震への備え、対応について対策を推進するものとする。

### 第3 気象

本市は、瀬戸内式気候に属しているため、温暖小雨で比較的しのぎやすい気候である。

年間の平均気温は16.5 前後であり、雨量は、年平均約1,306mm程度である。(大阪管区気象台平成2年から14年調べ)

また、台風は、年に1～2度来襲又は接近している。

### 第4 社会的条件

#### 1 人口

本市の人口は、平成17年1月末日現在181,260人となっている。

本市は、住宅開発の条件が整っており、昭和30年代の後半から始まった相次ぐ住宅開発により、年々人口が増加してきている。

さらに、昭和61年4月から、計画面積370ヘクタール、計画人口25,000人の和泉中央丘陵の開発も着工され、今後も人口増加が続くものと思われる。

(各年10月1日現在、国調調べ)

年	人 口	世 帯 数	一世帯当たり 人 員	老 年 人 口		
				人 口	割 合	全国割合
昭和55年	124,322	34,775	3.5	8,559	6.8	9.1
60	137,641	38,935	3.5	10,903	7.9	10.3
平成2年	146,127	42,900	3.4	13,548	9.2	12.0
7	157,300	49,686	3.1	17,215	10.9	14.8
12	172,974	57,804	2.9	21,924	12.6	17.3

## 2 都市構造

北部の平地部は、国道26号や大阪和泉南線などの広域幹線道路のほかにJR西日本阪和線が通っており、その沿線には市街地が広がり、人口密度が高く、本市の都心機能が集中している。

また中部の丘陵部は、大小の住宅開発のほかに和泉中央丘陵の開発も進められ、これに伴い泉北高速鉄道が乗り入れられており、近畿自動車道松原ささみ線、国道170号等広域幹線道路の整備もされている。

このようなことから、今後、大きく発展していく地域である。

## 第5 過去の主な災害

本市における主な風水害被害と、大阪府の主な地震被害は資料編に掲載のとおりである。

資料編	近年の災害時における和泉市内の被害状況 大阪府における主要被害地震
-----	--------------------------------------